

た。
ぼくは、造賀小学校が大好きです。自然が
豊かなところと、児童数が少ないからこそ体
験できることをたくさん楽しめています。米
づくりでは、田植えや収穫の作業、育てたも
ち米で餅つきも体験しました。他の学校では
体験できないと聞き、造賀小学校でよかった
と思いました。そして、地域の方々も学校に
来て下さり、ぼくたちに様々なことを教えて
くださいます。米の収穫の時に置いておいた
わらを使って、しめ縄づくりを体験しました。
昔の造賀の様子をお話に来てくださったこと
もあります。登下校の時には、ぼくたちが安
全に登下校できるように見守りをして下さっ
ています。その時に、「たけちゃん」と、声
を掛けてくださいます。「名前を覚えてもら
えていてうれしいなあ。」と思います。
ぼくには、造賀の住んでいるおじいちゃん
おばあちゃんが四人います。おじいちゃんた
ちと話をしているよく聞くことは「買い物や

病院に行く時には、車が必要で大変。」とい
うことです。今は車の運転ができてい
るけれど、もっと年を取ったらできな
くなりそうです。そうなると思いま
す。そうなるは大変だと思います。お
じいちゃんたちは「造賀には、バス
が通っているけれど、バスの本数が
少ないし、バス停から家まで遠い。
そして、運賃も高いから使うこと
ができない。」と、言っていました。
もしもおじいちゃんたちが車の運
転をすることができなくなったら、
ぼくが買い物などを手伝いた
いと思っと思っています。そして、
おじいちゃんたちだけでなく、い
つも「たけちゃん」と、声を掛
けてくれる近所のお年寄りも、手
助けしてあげたいと思っています。
ぼくは、大きくなっても、造賀で暮
らし続けたいです。しかし、今のま
まではほとんど人口が少なくなっ
てきています。造賀がもつと盛り上
がります。今ある地域の祭りや、大
人も子どもも楽しめるイベントな
どを、これからも続けてい

けるようにしたり、人が増えてみんなが楽しく住めるようなことを考えたりしたいです。たとえば、電車の駅ができたり、お店や施設が増えたりすると、便利になり造賀に住む人が増えるのではないかと思います。そして、お年寄りが車を運転しなくてもいいように、車の自動運転の技術が進歩すればいいなと思います。そうすれば、お年寄りも安全に自分が行きたい時に、行きたい場所に移動することができそうです。

子ども、大人も、お年寄りも、どんな人でも、楽しく安全に暮らしていけるように、これからも、造賀のことを考えていきたいと思えます。そして、造賀の地域だけでなく、東広島市内のそれぞれの地域が、楽しく安全に暮らしていけるようになることで、東広島市が更に発展していくことになると思います。